



東京外国語大学跡地
 面積 約4.5 ha
 跡地利用計画 (2006.3 北区) によれば面積の半分以上 (2.2 ha) を防災公園とし外周の道路拡幅と合わせ防災整備を目的とした跡地利用外語大のイメージを継承する施設用地は0.1 ha
 元は海軍下瀬火薬製造所の跡地。
 下瀬火薬は日露戦争の日本海海戦に威力を発揮開発者・製造所長の下瀬雅允の名は敷地南側の坂に「下瀬坂」として残る。

染井の植木屋
 江戸時代、染井村 (現在の駒込3,6,7丁目付近) は市中の庭園に樹木や花を供給するための一大園芸センターだった。
 中山道、岩槻街道が近くを走り、水はけのよい地質に恵まれているなど、染井村には植木栽培地としての好条件が揃っていた。
 彼らは庭師にとどまらず、花木の栽培、品種改良、展示・販売など多岐に渡っていた。
 特に、代々伊兵衛の名を世襲した伊藤家の功績は大きく中でも霧島ツツジの栽培に力を注いだ三代目伊兵衛は、染井のツツジは飛鳥山の桜と並ぶ江戸の名所となる。
 明治に入っても園芸の中心地であり続けたが、その後の都市化で、昭和以降次第に姿を消していく

私の庭・みんなの庭
 住民が自主管理するコミュニティ広場
 田畑や水辺づくりなどの活動を通し
 子供達と共に自然の環境を育てている

城北地域の建築と景観を考える
 2007.05 S1/5000
 城北地域会

